

要 覧

令和4年度



福岡県立図書館

目 次

1	沿 革	1
2	運営の基本方針	3
3	令和3年度事業	5
4	組 織	12
5	福岡県立図書館協議会委員	13
6	予 算	14
7	施設 の 概 要	14
8	利 用 案 内	15
9	統 計 資 料	17
10	令和3～4年度 新型コロナウイルス感染症対応記録	25

1 沿革

大正 4年10月 (1915年)	大正天皇御即位記念事業として、福岡県立図書館を設立することが臨時県会において可決、3か年継続事業として総経費132,240円
大正 4年12月 (1915年)	福岡県立図書館規則を制定し、図書館を福岡県庁内に設置
大正 7年 3月 (1918年)	同館落成、5月1日から一般の無料閲覧を開始 場所は現在の天神2丁目、本館は木造2階建て延べ492坪、書庫は煉瓦造り3階建て延べ120坪、蔵書は和洋書約25,000冊 この建物は昭和20年6月19日戦災により焼失
昭和20年 6月30日	仮事務所を中学修猷館内に置き復興事務を開始
昭和23年 8月	県議会において本館の復興を可決し、総経費530万円をもって工事に着手し、昭和24年7月1日落成、7月4日から閲覧を開始、場所は博多区東公園内で、本館は木造平屋建て141坪、書庫は2階建て35坪
昭和35年 9月10日	県と市の間で、須崎公園の一角に文化センターを建設する話合いが進められ、知事と市長が覚書を取り交わし、市が公会堂を県は図書館を建設することを決定
昭和38年 2月	県は図書館に美術館を併置した文化会館を建設することとし、工費34,056万円をもって2月15日着工、翌39年8月15日落成
昭和39年11月 3日	文化会館が中央区天神5丁目を開館、鉄筋コンクリート4階建て、書庫地下1階、地上7階延べ7,205㎡
昭和54年12月	文化会館が図書資料の増大等により手狭になったため、新しく県立図書館を建設するための基本設計費が12月県議会において議決
昭和56年 4月21日	図書館新築工事着工（施設の概要は別記）
昭和57年12月	12月県議会において、「福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例」を一部改正し、図書館を設置
昭和57年12月27日	新館竣工
昭和58年 2月25日	落成式挙行政
昭和58年 4月 1日	開館、一般閲覧開始
昭和59年11月 4日	日曜開館実施
平成 5年10月 1日	県議員会館が図書館に所管換される
平成 6年 9月	図書館別館改築工事着手（県議員会館の転用）
平成 7年 3月31日	別館竣工
平成 7年 4月 7日	別館開館、一般供用開始
平成 7年 6月 2日	別館落成式
平成 7年11月10日	本館地下書架増設に伴う改築工事着手
平成 8年 3月15日	同上竣工

平成 8年	3月22日	電算による業務開始
平成10年	5月15日	インターネットによる図書情報提供開始(福岡県立図書館所蔵和図書情報33万件) 「ふくおか生涯学習ネットワーク」 (アドレス http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/)
平成11年	4月 1日	福岡県立図書館組織規則改正 インターネットによる図書情報提供に北九州市、福岡市加わる (福岡県立図書館、北九州市立中央図書館、福岡市総合図書館 3館の和図書情報計130万件)
平成12年	3月	図書館協力車として車1台の寄贈を受ける (平成16年度以降資料配送業務を外部委託)
平成13年	10月	別館子ども図書館増改築工事着手
平成14年	2月22日	同上竣工
平成14年	4月23日	子ども図書館開館記念式典
平成15年	8月	ビジネス支援情報コーナー設置
平成16年	2月	新・福岡県図書館情報提供システム稼働開始 ネットワーク加入館の拡大
平成17年	1月	平成16年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成17年	4月	休日開館実施
平成17年	11月	「学校支援サービス」の拡充(学校貸出図書セット運用開始)
平成19年	7月24日	青少年と暮らしの交流室設置 (令和2年2月第一閲覧室別室へ名称変更)
平成21年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成22年	3月	在架予約サービス開始
平成22年	10月	遠隔地貸出・返却サービス本格実施
平成24年	10月	福岡市立図書館との相互返却を開始
平成25年	6月	福岡県公共図書館等協議会において、全県的に「学校支援サービス」本格実施
平成25年	11月	第99回全国図書館大会福岡大会開催
平成26年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成27年	2月	平成26年度図書館地区別研修(九州・沖縄地区)
平成30年		開館100周年
平成30年	11月18日	「開館百周年記念式典」挙行
平成31年	2月	福岡県図書館情報提供システム更新
平成31年	4月	「遠隔地貸出・返却」サービスの名称を「指定館受取・返却」 サービスに変更
令和 2年	4月	福岡県立図書館組織規則改正(班制の実施)
令和 2年	10月15日	電子図書館サービス(KinoDen)提供開始
令和 4年	1月25日	電子書籍サービス(Librari-E & TRC-DL)提供開始

2 運営の基本方針

福岡県立図書館の基本理念

生涯にわたる県民の学びと読書、福岡県に関する地域文化の継承と発展に貢献する図書館

福岡県立図書館の使命

館種を越えた県内図書館の情報拠点として、幅広く多様な視点から資料・情報を収集・保存・提供するとともに、多彩な情報発信を行うことにより、資料・情報の利活用による県民の学び、個々の課題解決、読書への意欲を育み、県民が自ら学ぶ気風の醸成と地域文化の未来への継承・発展に貢献すること

基本方針

福岡県立図書館の使命を実現するため、公共図書館をはじめとする県内の各種図書館と連携・協力し、図書館員の専門的能力を生かしながら、資料や情報を収集・保存・提供するとともに、積極的かつ多彩な情報発信を実践します。

目標1：「生涯にわたる学びの支援と情報発信」

幅広く多様な資料・情報を収集・保存・提供し、あわせて多彩な情報発信を行うことにより、県民の学びや課題解決を支援します。

- (1) 専門書・参考図書を中心に紙資料を網羅的に収集するとともに、各種データベースや電子書籍を含むデジタル資料の充実に努め、県民の学び、課題解決に役立つ蔵書構築を目指します。
- (2) 調べ方の案内やレファレンス事例等の蓄積・発信により、国内及び国外の調査研究のための情報共有を促進します。
- (3) 国や県の関係機関等と連携・協力し、県民の学びに役立つ展示や講演会などの共同企画を実践します。
- (4) ホームページやSNS・動画配信等の活用により、多彩で効果的な情報発信を実践します。

目標2：「子どもの学びと読書へのいざない」

子どもの学びと読書活動の推進拠点として、子どもの豊かで多様な学びを支え、読書の喜びを伝えるお手伝いをします。

- (1) 子どもの本を網羅的に収集・保存・提供するとともに、子どもが読書に親しむための取組や技術の充実に図り、子どもの読書活動を推進します。
- (2) 学校や県学校図書館協議会と連携・協力し、子どもの探求的な学習や読書活動を支援します。
- (3) 読書ボランティアの養成や活動を支援し、市町村の子どもの読書活動推進に資するよう努めます。

目標3：「ふくおかの文化を育む」

福岡県に関する資料・情報を収集・保存・利活用するため、紙資料の収集・保存とともに、デジタルアーカイブの充実に図ることにより、地域文化の継承・発展を支援します。

- (1) 福岡県に関する紙資料の収集・保存と並行して、デジタル化を主とする資料の媒体変換を行い、市町村と協力して県全体としてのデジタルアーカイブを構築することにより、福

岡山独自の資料・情報の利活用と情報発信を推進します。

- (2) 福岡県に関するレファレンス・ツールの作成とレファレンス事例の蓄積により、国内及び国外の福岡県に関する調査・研究を促進します。
- (3) 地域の出版社や書店と連携・協力し、福岡県に関する出版物等を収集・保存し、利活用のための情報発信を行うことにより、地域文化の継承・発展を支援します。

目標4：「バリアフリーの実現」

県民が、等しく学び、読書に親しむことができる環境を整備することにより、心の豊かさと生きる力を育むお手伝いをします。

- (1) 「障害者差別解消法」、「読書バリアフリー法」などに適切に対応したサービスや設備の改善を行うことにより、誰もが使いやすい図書館を目指します。
- (2) 読書に困難がある人へのサービスとして、大活字本やデージー及びマルチメディアデージー図書・LLブック・音声読み上げ機能付電子書籍等を収集・提供し、情報アクセスの向上に努めます。
- (3) さまざまな理由による情報格差を解消するため、先進的な情報技術の活用も視野に入れ、利用案内や検索支援等、県民の情報リテラシー(情報の利活用能力)向上のための情報提供を行います。
- (4) 福岡県で生活する外国人へのサービスとして、また、県民との相互理解を深めるため、日本を紹介する資料や外国語資料の充実に努めます。

目標5：「図書館サービスの推進拠点」

公共・学校・大学・専門図書館やボランティア団体をはじめとする県内の読書関連団体と連携・協力し、電子図書館を含む県全体の図書館サービス向上を目指します。

- (1) 研修事業を充実するとともに、図書館運営等に関する情報提供や各種相談に対応し、新たなサービス等についての調査研究を行うことにより、県内公共図書館等職員の育成支援と技術の継承を図ります。
- (2) 資料配送業務を含む「福岡県図書館情報ネットワーク」の運営により、相互貸借や共同研修の企画など、図書館の館種を越えた連携・協力を推進します。
また、電子書籍の本格的導入により、非来館型サービスを展開し、ネットワークの充実を図ります。
- (3) 図書館ボランティアと連携し、ボランティアの育成を支援することにより、官民の垣根を越えた図書館サービスの充実を目指します。

3 令和3年度事業

(1) 研修・講座等

事業名		開催月日	内 容	参加者等	
読書週間 関連事業	1日図書館員体験 (小学生)	10月30日(土)	① カウンター業務体験 ② 館内見学 ③ おはなし会の補助、書架整理	小学5・6年生 6名	
	布の絵本展	10月27日(水) ～ 11月14日(日)	ゆずりはの会が制作した布絵本の展示	県民一般 485名 (うち子ども269)	
	本の展示	10・11月	子ども図書館司書おすすめの本の展示	県民一般	
	読書推進大会 (行橋市大会)	11月6日(土)	優良読書グループ表彰・おはなし会実演・講演会 講演:「人生のつぎの扉を開けてくれる本」 講師:東山 彰良(直木賞作家)	県民一般 図書館関係者 100名	
	読書推進講演会 (YouTube 配信)	9月30日(木) ～ 11月20日(土)	「今、独立系書店がアツい!～地域に本屋を～」 ・オープニングトーク ブックスキューブリック 大井 実 氏 ・座談会 登壇者: MINOU BOOKS & CAFE 石井 勇 氏 taramu books & cafe 村田 幸 氏 ファシリテーター:ブックスキューブリック 大井 実 氏	県民一般 図書館関係者 視聴回数 オープニングトーク 431回再生 座談会 563回再生	
県立図書館・放送 大学 コラボ公開 講演会 (YouTube 配信)	2月1日(火) ～ 2月15日(火)	「再エネ大国・中国の競争力確立の経緯 ～中国のカーボンニュートラル戦略から日本が学ぶべき こと～」 講師 九州大学大学院経済学研究院 准教授 堀井 伸浩 氏	県民一般 82回再生		
公共図書館等 職員研修会	基本研修	初任者研修会 (YouTube 配信)	5月28日(金) ～ 6月30日(水)	対象:図書館業務初任者 内容:講義1「図書館ってどんなところ? ～図書館の現在地とこれからの図書館～」 講義2「本の正しい扱い方」 講義3「調査相談(レファレンス)の基礎知識」 講義4「児童サービスの基礎」 講義5「郷土資料の活用法」 講義6「基本の著作権」 事業説明「図書館協力と福岡県図書館情報ネット ワーク」 講師:福岡県立図書館職員	公共図書館・公民 館職員等 延べ470回再生

	<p>中堅職員研修 (YouTube 配信)</p> <p>※令和3年度 全国公共図書 館研究集会 (サービス部 門総合・経営 部門)と兼ね る</p>	<p>11月25日(木) ～ 12月9日(木)</p>	<p>対象：県内公共図書館等関係者 内容・情勢報告 講師：公益社団法人日本図書館協会 理事長 植松 貞夫 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「デジタルアーカイブと図書館サービスの新段階」 講師：慶應義塾大学文学部 准教授 福島 幸宏 氏 ・調査報告 「新型コロナウイルス感染症の図書館対応状況について」 講師：青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授 大谷 康晴 氏 ・事例発表① 「とっとりデジタルコレクション」の取組み— 他機関との連携による地域資料の公開— 講師：鳥取県立図書館 資料課長 野沢 敦 氏 ・事例発表② 「瀬戸内市民図書館のデジタルアーカイブについて」 講師：瀬戸内市民図書館 館長 村上 岳 氏 ・事例発表③ 「田川市立図書館のデジタルアーカイブについて」—「筑豊・田川デジタルアーカイブ」の活用と持続可能な学び活動— 講師：田川郷土研究会 会長 中野 直毅 氏 	<p>公共図書館・公民館職員等 延べ2779回再生</p>
<p>専門研修</p>	<p>資料デジタル 化研修会 (YouTube 配信)</p> <p>※令和3年度 全国公共図書 館研究集会 (サービス部 門総合・経営 部門)と兼ね る</p>	<p>11月25日(木) ～ 12月9日(木)</p>	<p>対象：公共図書館等の職員 内容・情勢報告 講師：公益社団法人日本図書館協会 理事長 植松 貞夫 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「デジタルアーカイブと図書館サービスの新段階」 講師：慶應義塾大学文学部 准教授 福島 幸宏 氏 ・調査報告 「新型コロナウイルス感染症の図書館対応状況について」 講師：青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授 大谷 康晴 氏 ・事例発表① 「とっとりデジタルコレクション」の取組み— 他機関との連携による地域資料の公開— 講師：鳥取県立図書館 資料課長 野沢 敦 氏 ・事例発表② 「瀬戸内市民図書館のデジタルアーカイブについて」 講師：瀬戸内市民図書館 館長 村上 岳 氏 ・事例発表③ 「田川市立図書館のデジタルアーカイブについて」—「筑豊・田川デジタルアーカイブ」の活用と持続可能な学び活動— 講師：田川郷土研究会 会長 中野 直毅 氏 	<p>公共図書館・公民館職員等 延べ2779回再生</p>

	レファレンス 研修（初級）	9月6日（月）	対象：図書館業務経験延べ3年未満の職員 内容：「ハイブリッド情報検索（基礎編）」 「レファレンス課題調査（基礎編）」 講師：福岡県立図書館職員	18名
	レファレンス 研修（中級）	9月27日（月）	対象：図書館業務経験延べ3年以上5年未満の職員 内容：「ハイブリッド情報検索（応用編）」 「レファレンス課題調査（応用編）」 講師：福岡県立図書館職員	9名
子どもと読書 研修会	児童図書館 入門講座(全3回)	6月21日（月） 6月28日（月） 7月12日（月）	対象：児童サービス経験2年未満 内容：読み聞かせ、選書、レファレンスについての 講義及び実習	公共図書館・公民 館職員等 24名 (延べ72名)
	専門講座 ※子ども読書推進事 業「ボランティアス キルアップ講座」と 合同開催	1月17日（月）	対象：県内公共図書館（室）職員等 内容：「たのしい乳幼児おはなし会 ～赤ちゃん絵本とわらべうた・あそびうた」 講師 埼玉県三芳町立図書館 館長 代田 知子 氏	公共図書館職員等 延べ78名
子ども読書 推進事業	子ども読書推進講 演会	10月22日（金）	講演：「おしるこ日和in福岡～しるこさん、 『ちょいと』お話しかせちゃりい～」 講師：児童文学作家 戸森 しるこ 氏 実践発表：「コロナ禍だからこそ！学校での読書への取 り組み」 発表者：那珂川市立小・中学校読書ボランティア 連絡会 代表 鬼塚 和代 氏 副代表 西 幸子 氏 那珂川市立那珂川南中学校 学校司書 高柳 洋子 氏	読書ボランティア ・子どもの読書推 進に関心がある人 等 85名
	青少年読書推進事 業「青少年読書講 座」	8月30日（月）	内容：【オンライン講座】 「ヤングアダルトサービス ～埼玉県の学校図書館から～」 講師：埼玉県立伊奈学園総合高校・中学校 主任司書 小野 裕之 氏 埼玉県立岩槻商業高校 司書 杉本 太志 氏	県内公共図書館（ 室）職員、教職員 、学校司書、社会 教育関係職員等 51名
	子ども読書スキル アップ講座 ※「子どもと読書」 研修会専門講座と合 同開催	1月17日（月）	対象：県内公共図書館（室）職員等 内容：「たのしい乳幼児おはなし会 ～赤ちゃん絵本とわらべうた・あそびうた」 講師 埼玉県三芳町立図書館 館長 代田 知子 氏	公共図書館職員等 延べ78名
ボラ ンテ ィア 講 座 等	音訳等ボランティ ア研修会 (YouTube 配信)	2月17日（木） ～ 2月28日（月）	演題：「文字を声にするときのポイント」 講師：元NHKアナウンサー 佐々木 謙介 氏	音訳等 ボランティア 157名

(2) 大会等

事業名	開催月日	内 容	参加者等
第55回 福岡県地方史研究 協議大会	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	
令和3年度全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門） （YouTube配信）	11月25日(木) ～ 12月9日(木)	対象：全国公共図書館等関係者 内容・情勢報告 講師：公益社団法人日本図書館協会 理事長 植松 貞夫 氏 ・基調講演 「デジタルアーカイブと図書館サービスの新段階」 講師：慶應義塾大学文学部 准教授 福島 幸宏 氏 ・調査報告 「新型コロナウイルス感染症の図書館対応状況について」 講師：青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授 大谷 康晴 氏 ・事例発表① 「とっとりデジタルコレクション」の取組み—他機関との連携による地域資料の公開— 講師：鳥取県立図書館 資料課長 野沢 敦 氏 ・事例発表② 「瀬戸内市民図書館のデジタルアーカイブについて」 講師：瀬戸内市民図書館 館長 村上 岳 氏 ・事例発表③ 「田川市立図書館のデジタルアーカイブについて」—「筑豊・田川デジタルアーカイブ」の活用と持続可能な学び活動— 講師：田川郷土研究会 会長 中野 直毅 氏	公共図書館・公民館職員等 延べ2779回再生

(3) 郷土資料調査

	期 間	資 料 名
第1回	令和3年11月～12月のうち延べ10日間	「武谷文庫(E)」

(4) 企画展示

期 間	展 示 内 容	場 所
7月20日～8月29日	「オリンピック・パラリンピック」	本館1階エントランス
10月19日～11月28日	「福岡県置県150周年～紙とデジタルで見る～」	
1月25日～2月24日	「千利休と喫茶文化～千利休 生誕500年～」	
3月15日～5月8日	映画資料展示 「地球と暮らしのバランス～映画で始めるSDGs～」	

郷土資料ミニ展示	郷土資料ミニ展示
第1回「福岡県立図書館ふくおか資料室ホームページリニューアル記念 デジタルライブラリ資料のご紹介」 (6月～7月)	本館3階エレベーターホール
第2回「福岡県とオリンピック・パラリンピック」 (8月～10月)	
第3回「福岡県の150年 ～人々の暮らしと娯楽を中心に～」 (12月～2月)	

(5) 出版

福岡県立図書館要覧 令和3年度
福岡県立図書館報 (No.77)
令和3年度 読書週間特別企画 高校生／ティーンズの推し本!

(6) 職場体験活動等受入状況

事業名	期間	活動内容等	参加者等
高校生インターンシップ	7月28日～7月30日	カウンター業務 (貸出・返却等) 相互貸借業務 資料整理業務	4名
図書館実習	8月30日～9月10日	カウンター業務 (貸出・返却等) 相互貸借業務 資料整理業務	3名

(7) 福岡県公共図書館等協議会事業

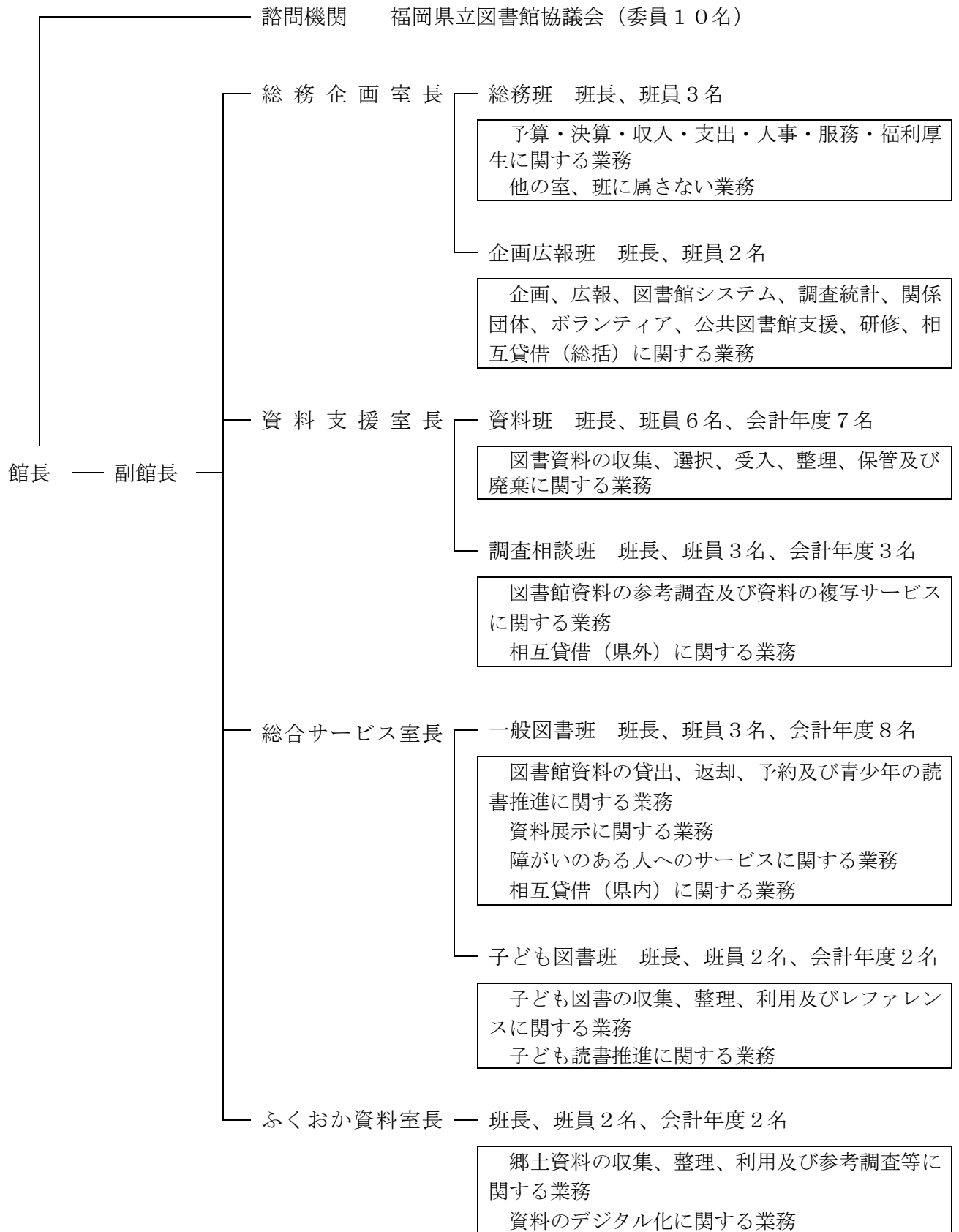
事業名	期間	内容	参加者等
総会・館長等研修会 (YouTube配信) ※令和3年度全国公共 図書館研究集会 (サービス部門総合・ 経営部門)と兼ねる	11月25日(木) ~ 12月9日(木)	対象：県内公共図書館等関係者 内容・情勢報告 講師：公益社団法人日本図書館協会 理事長 植松 貞夫 氏 ・基調講演 「デジタルアーカイブと図書館サービスの新段階」 講師：慶應義塾大学文学部 准教授 福島 幸宏 氏 ・調査報告 「新型コロナウイルス感染症の図書館対応状況について」 講師：青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授 大谷 康晴 氏 ・事例発表① 「とっとりデジタルコレクション」の取組み—他 機関との連携による地域資料の公開— 講師：鳥取県立図書館 資料課長 野沢 敦 氏 ・事例発表② 「瀬戸内市民図書館のデジタルアーカイブについて」 講師：瀬戸内市民図書館 館長 村上 岳 氏 ・事例発表③ 「田川市立図書館のデジタルアーカイブについて」—「筑豊・田川デジタルアーカイブ」の活用 と持続可能な学び活動— 講師：田川郷土研究会 会長 中野 直毅 氏 ※総会は書面開催	公共図書館・公 民館職員等 延べ2779回再生
職員研修会 (オンライン及び YouTube配信)	オンライン 1月17日(月) 動画配信 1月28日(金) ~ 2月11日(金)	対象：県内公共図書館等関係者 内容・基調講演「コロナ禍における図書館のあり方について」 講師：アカデミックリソースガイド 代表取締役 CEO 岡本 真 氏 ・コロナ禍における図書館運営に関する事例発表 ①講師：須賀川市中央図書館 (須賀川市民交流センターtette) 係長 岡崎 朋子 氏 ②講師：公益財団法人日本交通公社 観光文化振興部 「旅の図書館」 副館長 大隅 一志 氏 ③講師：筑後市立図書館 館長 一ノ瀬 留美 氏	公共図書館・公 民館職員等 オンライン 25名 動画 延べ104回再生
理 事 会	5月書面開催 3月17日(木) (オンライン)	事業計画等の検討 協議会内の連携協力を図るための情報交換等 協議会の取組課題について	
各 種 委 員 会	図書館課題検討 委員会	11月26日(金) 2月書面開催	調査・研究テーマ及び雑誌の分担保存中止申請について 雑誌及び新聞の分担保存に関するアンケートについて
	研修委員会 (オンライン)	9月7日(火) 2月16日(水)	県協議会主催の研修会の企画検討
出 版	「令和3年度 福岡県公共図書館等概況」		

(8) 福岡県点字および録音図書連絡協議会事業

総 会	7月16日(金)	会場：福岡県立図書館	12名
担当者連絡会	11月5日(金)	会場：オンライン	20名
職員・ボランティア研修会	2月4日(金)	会場：オンライン 演題：「点字および録音図書における著作権の取扱いについて ～注意すべき事柄等、実例をあげて～」 講師：社会福祉法人ぶどうの木 ロゴス点字図書館 図書制作部・図書館サービス部長 平井 利依子 氏	66名

4 組 織

令和4年4月1日現在



5 福岡県立図書館協議会委員

選出区分	氏名	役職名 (就任時)	委員任期	摘要
学校教育関係者	伊藤 和範	粕屋町立大川小学校 長	R2. 7. 14～R3. 9. 7 R3. 9. 8～R4. 7. 20	
〃	松本 佳子	福岡県立福岡高等視 覚特別支援学校長	R3. 9. 8～R4. 7. 20	
〃	三宅 竜哉	福岡高等学校長	R4. 7. 21～R5. 9. 7	
〃	青木 美佳	福岡県立福岡高等視 覚特別支援学校長	R4. 7. 21～R5. 9. 7	
社会教育関係者	一ノ瀬 留美	筑後市立図書館長	H27. 9. 8～H29. 9. 7 H29. 9. 8～ R1. 9. 7 R1. 9. 8～ R3. 9. 7 R3. 9. 8～ R5. 9. 7	
〃	峰 恵	録音図書製作ボラン ティア	H29. 9. 8～R1. 9. 7 R1. 9. 8～R3. 9. 7 R3. 9. 8～R5. 9. 7	
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	香月 まゆみ	福岡県PTA連合会 副会長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
学識経験者	古田 雅憲	西南学院大学教授	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	山元 悦子	福岡教育大学教授	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	安永 寛	福岡県書店商業組合 理事長	R3. 9. 8～R5. 9. 7	
〃	岡野 秀之	九州経済調査協会 事業開発部長	R1. 9. 8～R3. 9. 7 R3. 9. 8～R4. 7. 20	
〃	岡本 洋幸	九州経済調査協会 BIZCOLI館長	R4. 7. 21～R5. 9. 7	
〃	江口 善明	福岡県議会議員 (文教委員)	R3. 7. 8～R5. 9. 7	

10名 任期2年

6 予 算

事 項 名	金 額
図書館運営費	126,492 千円
図書資料購入費	79,944 千円
読書推進活動費及び図書館普及事業費	343 千円
図書資料整備費	2,949 千円
図書館業務委託事業費	26,807 千円
図書館整備費	35,909 千円
合 計	272,444 千円

7 施設の概要

本 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地下1階・地上5階建）		
敷地面積	3,329 m ²	建築面積	1,747 m ²
延床面積	7,945 m ²	総工費	2,484,715 千円

別 館

構 造	鉄筋コンクリート造（地上5階建）		
敷地面積	1,653 m ²	建築面積	809 m ²
延床面積	3,269 m ²	総工費	459,329 千円
（うち子ども図書館増築分）	150 m ²		64,960 千円（）

8 利用案内

(1) 開館時間

本館	第1閲覧室 (1F)	午前9時～午後7時 (日曜日は午後5時まで)
	第1閲覧室別室 (1F)	
	第2閲覧室、新聞室 (2F)	
	ふくおか資料室 (3F)	
別館	子ども図書館 (1F)	午前9時～午後5時
	学習室 (3F)	午前9時～午後5時
	録音図書室 (5F) ボランティアルーム	午前9時～午後5時 (一般の方の利用はできません)

(2) 休館日 (令和4年度)

毎週月曜日

図書整理日 (毎月末日。ただし、土・日曜日に当たるときは開館)

創立記念日 (4月1日)

年末年始 (12月28日から1月4日)

特別整理期間 (令和5年2月24日から3月9日)

(3) サービス内容

① 個人貸出

図書資料は貴重書・参考資料・その他規則により制限されているものを除き、貸出をしています。

貸出は利用者の住所・氏名が確認できるもの(運転免許証・健康保険証・学生証など)の提示により登録を行い、利用者カード(発行日から3年間有効)を発行して、その日から行っています。

貸出は同時に10点まで、貸出期間は15日間(貸出日を含む。)です。

② 予約サービス

電話や当館ホームページで在架資料の予約もできます。

③ 指定館受取・返却サービス

当館が所蔵している資料について、利用者本人によるインターネットでの予約申込みにより、県内最寄りの図書館等で受取・返却ができます。

④ 相互貸借による資料提供サービス

当館が所蔵していない資料については、利用者の求めにより他の図書館(県内外の公共図書館・国立国会図書館等)から借り受けて利用に供しています。

- ⑤ インターネットによるサービス
インターネット上のホームページから、蔵書検索、新着資料一覧が見られるほか、パーソナルサービスとして利用者本人の貸出・予約情報の照会もできます。
所蔵資料の情報提供サービスは県内公共図書館所蔵情報を横断検索できるシステムを構築し、令和4年4月現在、参加60館(県立図書館含む図書館(室)・専門図書館等)の図書資料情報が県立図書館ホームページから一括検索が可能です。
- ⑥ 複写サービス
所蔵資料の電子複写及びマイクロフィルムからの引き伸ばしを、著作権法の範囲内で有料で応じています。
- ⑦ レファレンスサービス
日常生活の中などで起こる疑問や各種の調査・研究について、資料提供など相談に応じています。
電話、FAX、文書、Eメールでの相談も受け付けています。
- ⑧ 学校支援サービス
学校における読書活動の推進や教育活動の支援のため、本やボードゲーム類の特別貸出事業及び特別支援学校等学校貸出図書セット事業、児童・生徒向け調べ方の近道案内(パスファインダー)の作成等を行っています。
- ⑨ バリアフリーサービス
読書に困難のある人(視覚障がいだけでなく失読症等の学習障がいなどがある方も対象)へのサービスのため録音図書の貸出等を行うほか、それらの利用体験の機会も提供しています。
録音図書製作ボランティア「福岡県立図書館音訳の会」に委嘱して録音図書を製作しています。
また、拡大読書器を設置するとともに、大活字本の購入を進めています。
- ⑩ 電子図書館サービス
非来館型サービスの一環として、令和2年度に導入した「KinoDen」は、令和4年3月29日現在、専門書、参考図書を中心に4,900タイトルが閲覧可能です。さらに、令和4年1月25日から新サービス「Librari-E&TRC-DL」の提供を開始し、オーディオブックや子ども、YA資料を中心に6,987タイトルが利用できるようになりました。
「福岡県立図書館デジタルライブラリ」では、当館で収集保存している福岡県に関する図書・雑誌・新聞・行政資料・古記録類・視聴覚資料などの一部をデジタル化し、閲覧・利用しやすい形で公開しています。

9 統計資料

(1) 所蔵資料

① 図書資料

(単位：冊)

	R 1 年度末現在	R 2 年度末現在	R 3 年度末現在
一 般	711,146	710,805	708,985
郷 土	51,155	52,065	53,073
子 ど も	99,694	101,705	103,582
小 計	861,995	864,575	865,640
学校貸出セット	6,322	6,233	706
計	868,317 (注1)	870,808 (注2)	866,346 (注3)

(注1) 上記のほか図書館システム未登録資料が 39,899 冊あり

(注2) 上記のほか図書館システム未登録資料が 39,861 冊あり

(注3) 上記のほか図書館システム未登録資料が 39,855 冊あり

② 逐次刊行物

(単位：タイトル)

		R 1 年度末現在	R 2 年度末現在	R 3 年度末現在
雑 誌	一 般	9,818	9,818	9,832
	郷 土	7,674	7,676	7,708
	子 ど も	171	171	172
	計	17,663	17,665	17,712
新 聞	一 般	234	236	233
	郷 土	263	263	263
	子 ど も	4	4	4
	計	501	503	500
法 令 集		5	5	5
規 格 資 料 等		4	4	4
合 計		18,173	18,177	18,221

③ その他資料

			R 1 年度末現在	R 2 年度末現在	R 3 年度末現在
マイクロ 資 料	ロール	一般室	1,926 リール	1,926 リール	1,926 リール
		郷土室	5,891 リール	5,936 リール	5,955 リール
		計	7,817 リール	7,862 リール	7,881 リール
フィッシュ			11,141 枚	11,141 枚	11,141 枚
レ コ ー ド			1,227 枚	1,227 枚	1,227 枚
ビデオ、CD-ROM等			2,082 点	2,115 点	2,097 点
視力障害者用録音資料			18,271 巻(枚)	18,385 巻(枚)	18,501 巻(枚)
布 の 絵 本			144 冊	148 冊	145 冊
電 子 書 籍				663 点	11,887 点

④ 特別コレクション

i 当館所蔵資料

福岡県史編さん資料	795 点
大田資料（藩政資料）	554 点
諸岡家文書（怡土郡大庄屋記録）	305 点
明石家文書（箱崎浦大庄屋記録）	375 点
河内卯兵衛資料（同氏遺品）	約 6,000 点
小原菁々子俳諧文庫（俳句関係資料ほか）	約 1,000 点
福岡県農業総合試験場資料	178 点
安部資料（安部幸六氏鳥類研究資料）	約 400 冊
波多江文庫（現代蒐書）	約 30,000 冊
エスペラント資料（伊藤徳之助氏遺品）	約 400 冊
萩尾映画資料（スチール及びプレス類）	約 20,000 点
映画資料（当館収集映画資料、ポスター、スチール及びプレス類）	邦画 5,788 タイトル 洋画 10,923 タイトル
福岡日日新聞（明治24年～昭和17年）西日本新聞（昭和17年以降） その他の貴重資料 筑前国産物帳、益軒書簡、シーボルト「日本」 福岡県関係近世古地図 「筑前秋月藩館下之図」、「筑前国十五郡三図（正保筑前国絵図）」 「柳河郭内之図」ほか多数	

ii 寄託資料

竹田文庫（藩儒記録）	約 4,000 点
衣笠文庫（郷土資料）	1,864 冊
杉山文庫（杉山茂丸氏・泰道氏・龍丸氏蔵書）（寄贈を含む）	約 1,000 点
夢野久作資料（小説家遺品）	約 100 点
禅寺洞文庫（吉岡禅寺洞氏遺品）	774 冊
方城町収集古文書（町文化財）	約 1,000 点
武谷文庫（武谷元立、祐之関係書簡ほか）	約 1,010 点
谷口資料（谷口良忠氏作成・収集鉄道関係資料）（寄贈を含む）	図書等 1,200 点 雑誌 43 タイトル

⑤ 古文書等複製化状況（令和3年度）

i マイクロフィルム撮影

（単位：巻）

No.	資料名	マイクロリール数
1	郷土行政資料（福岡県教育要覧ほか）	19
計		19

ii デジタル化

No.	資料名	資料点数
1	昭和28年浮羽郡水害写真帳 ほか	21
計		21

(2) 所蔵資料受入状況

① 図書資料

(単位：冊)

		R2年度末現在	R3年度増	R3年度末現在
総	記	37,324	303	37,627
哲	学	41,941	-500	41,441
歴	史	84,777	-2,317	82,460
社	会 科 学	166,228	2,094	168,322
自	然 科 学	62,012	565	62,577
技	術	59,965	-429	59,536
産	業	37,460	-92	37,368
芸	術	65,351	469	65,820
言	語	14,521	-216	14,305
文	学	207,615	2084	209,699
布	の 絵 本	148	-3	145
紙	芝 居	1,599	52	1,651
行	政	33,569	-1953	31,616
郷	土	52,065	1,008	53,073
計		864,575	1,065	865,640
行政資料 (再掲)	福岡県			
	福岡県市町村	12,564	239	12,803
	国			
	都道府県	21,005	-2,192	18,813

※ 学校貸出セットを除く。

② 逐次刊行物

		R 2年度末現在 タイトル数	R 3年度増 タイトル数	R 3年度末現在 タイトル数	
雑	総記 (G)	873	0	873	
	人文 (C)	499	5	504	
	社会 (S)	1,711	-3	1,708	
	科学・技術 (T)	1,944	-8	1,936	
	文芸 (L)	1,088	0	1,088	
	郷土 (K)	4,743	22	4,765	
	子ども (J)	171	1	172	
誌	行政資料	福岡県及び 県内市町村	2,933	10	2,943
		国及び都道府県	3,703	20	3,723
	計	17,665	47	17,712	
新聞	一般	236	-3	233	
	郷土	263	0	263	
	子ども	4	0	4	
	計	503	-3	500	
法令集		5	0	5	
規格資料等		4	0	4	
合計		18,177	44	18,221	

(3) 利用状況

① 入館者数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
入館者数	255,876(1,075)	174,205(691)	163,965(735)
年間開館日数(日)	(注1) 238	(注2) 252	(注3) 223

※ () は1日平均

(注1) R1年度は、特別整理及び空調等工事のため12/1~31、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため2/28~3/31の期間休館

(注2) R2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため4/1~5/18の期間休館

(注3) R3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため5/12~6/20、8/9~9/12の期間休館

② ホームページアクセス数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
ホームページアクセス数	340,148	703,864	785,502

※ R1年度までは、トップページのアクセス数のみを計上

③ 図書資料貸出状況

		R 1年度	R 2年度	R 3年度
登録者数 (人)	一般	123,280	126,221	128,796
	子ども	5,500	5,843	6,318
	計	128,780	132,064	135,114
利用件数 (人) (相互貸借を含む)	一般	137,824	129,464	132,536
	子ども	11,765	10,289	11,512
	計	149,589	139,753	144,048
貸出冊数 (冊) (相互貸借を含む)	一般	310,095	290,355	287,060
	子ども	83,992	79,715	92,692
	計	394,087	370,070	379,752
電子書籍閲覧回数			4,680	22,301

※ 電子書籍はR2年10月15日から提供開始、R4年1月25日サービス追加。

録音図書

		R 1年度	R 2年度	R 3年度
個人	登録者数(人)	312	316	319
	利用冊数(冊)	1,309	1,596	1,408
	利用巻数(巻)	1,371	1,596	1,408
団体	利用団体数	107	110	110
	利用冊数(冊)	464	872	879
	利用巻数(巻)	466	874	884

指定館貸出・返却サービス利用件数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
受取利用(冊)	7,701	8,606	10,027
返却利用(冊)	4,816	3,667	3,669
計	12,517	12,273	13,696
協力館(館)	53	53	53

※協力館数は、年度末の数値。

相互貸借

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
貸出(再掲)	14,802(うち県外1,072)	14,623(うち県外1,067)	15,187(うち県外1,049)
借 受	3,392(うち県外 611)	3,315(うち県外 534)	2,776(うち県外 389)

※ただし「県外」は公共図書館のみ

学校貸出図書セット

(単位：セット)

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
貸出状況(再掲)	105	15	13

④ 資料の特別利用

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
1 資料の復刻・翻刻	3 件	2 件	4 件
2 資料掲載	55 件	46 件	11 件
3 資料の放映	30 件	12 件	7 件
4 その他(展示等)	20 件	19 件	5 件
計	108 件	79 件	27 件

※ 令和3年3月29日デジタルライブラリリニューアルに伴い、デジタルライブラリ掲載資料についてはオープンデータとした。

⑤ 複写利用状況

		R 1年度	R 2年度	R 3年度
枚 数	第2閲覧室	54,043枚	59,218枚	51,164枚
	ふくおか資料室	59,163枚	43,129枚	49,820枚
	計	113,206枚	102,347枚	100,984枚

※ カラーコピーは1枚30円、モノクロ、マイクロコピーは1枚10円

⑥ 「特別複写・自写申請書」による撮影枚数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
枚 数	71,427 枚	2,369 枚	11,646 枚

⑦ 「おはなし」の時間

日 時	対 象	内 容	
毎週水曜日 10時40分	0・1・2歳	絵本の読み聞かせ ストーリーテリング	
〃 11時 5分			
毎週土曜日 14時	幼児・小学生	紙しばい ほか	
	R 1年度	R 2年度	R 3年度
実施回数	82回	81回	70回
参加延人数	1,455人 (うち子ども 831人)	1,001人 (うち子ども 572人)	798人 (うち子ども 450人)

※令和2年7月1日から、毎週水曜日のおはなし会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため同一内容で2回に分けて実施。

⑧ 子ども情報ルーム 学習目的利用者（内パソコン利用者）

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
利用者数(人)	786(323)	480(182)	379(136)

⑨ 子ども読書普及活動講師派遣状況及び受講者数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
講師派遣件数(回数)	6件(10回)	1件(1回)	1件(1回)
受講者数(人)	287	50	50

⑩ 資料補修講師派遣状況及び受講者数

	R 1年度	R 2年度	R 3年度
講師派遣件数(回数)	4件(4回)	0件(0回)	0件(0回)
受講者数(人)	37	0	0

⑪ レファレンス件数

		R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
面 談	一 般	28,667	28,776	26,673
	ふくおか資料室	3,423	1,868	1,242
	子ども室	4,533	4,068	3,915
	計	36,623	34,712	31,830
電 話	一 般	9,498	10,787	13,498
	ふくおか資料室	1,068	864	943
	子ども室	477	271	527
	計	11,043	11,922	14,968
文 書	一 般	273	329	585
	ふくおか資料室	26	17	272
	子ども室	0	0	0
	計	299	346	857
F A X	一 般	53	60	37
	ふくおか資料室	87	9	130
	子ども室	0	1	0
	計	140	70	167
Eメール	一 般	975	1,643	2,462
	ふくおか資料室	223	401	736
	子ども室	25	2	5
	計	1,223	2,046	3,203
ウオンテット (所在調査用掲示板)	一 般	70	95	112
	ふくおか資料室	1	0	0
	子ども室	0	0	0
	計	71	95	112
合 計	一 般	39,536	41,690	43,367
	ふくおか資料室	4,828	3,159	3,323
	子ども室	5,035	4,342	4,447
	計	49,399	49,191	51,137

⑫ 書庫出納

	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
総記	1,876	1,541	1,515
哲学・宗教	3,055	2,483	2,506
歴史・地理	4,392	3,987	4,294
社会科学	5,536	4,901	4,499
自然科学	1,881	1,791	1,737
工学	1,653	1,828	1,725
産業	1,170	1,439	1,114
芸術	2,653	2,352	2,531
言語	553	559	488
文学	8,197	7,197	7,139
雑誌	4,348	8,612	8,555
子ども	11,738	12,497	12,294
郷土	14,029	11,128	9,512
その他※	2,550	4,053	3,258
合計	63,631	64,368	61,167

※「その他」には、新聞・AV資料・行政資料等を含む。

⑬ 県内公共図書館設置状況

	R 1 年度末	R 2 年度末	R 3 年度末
市 立	2 8 (2 8)	2 8 (2 8)	2 8 (2 8)
町 立	2 5 (3 0)	2 5 (3 0)	2 5 (3 0)
村 立	0 (2)	0 (2)	0 (2)
合 計	5 3 (6 0)	5 3 (6 0)	5 3 (6 0)

() 内は市町村数を表示している。

⑭ 録音図書室

○ 沿 革

- 昭和40年 4月 盲人用録音物等発受施設の申請を郵政省へ提出 11月認可
- 11月 録音図書吹込開始 (朗読ボランティア7名)
- 昭和42年 4月 福岡県文化会館 盲人用テープライブラリー発足
蔵書 25冊 (68巻) 利用登録者 22名
- 昭和48年 4月 オープンリールからカセットに切り替える
- 昭和50年 録音図書制作ボランティアとして「福岡県朗読奉仕者の会」創立
- 昭和53年 2月 逐次刊行物「暮らしの手帖」録音版発刊
- 昭和53年 2月 朗読奉仕者の会会報「かけはし」創刊
- 10月 日本点字図書館団体登録が承認される
- 12月 国立国会図書館学術文献録音サービス受付機関となる
- 昭和56年 9月 福岡県朗読奉仕者の会が福岡市社会福祉協議会より表彰を受ける
- 昭和58年 4月 福岡県立図書館録音図書室としてスタート
- 昭和63年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が「第24回社会を明るくするフクニチ新聞社賞」を受賞
- 平成 2年 6月 福岡県朗読奉仕者の会が厚生大臣表彰を受ける
- 平成 6年10月 福岡県朗読奉仕者の会が「福岡県教育文化功労者表彰」を受賞
- 平成 8年10月 録音図書校正ボランティア養成講座開催
(平成8年度生涯学習ボランティア活動総合推進事業)
- 平成11年 4月 福岡県立図書館所蔵録音図書情報インターネットで提供開始
- 平成16年 5月 福岡県朗読奉仕者の会が「緑綬褒章」を受章
- 平成19年12月 デイジー図書 (デジタル音声情報システムによる録音図書) の貸出開始
- 平成22年 4月 福岡県朗読奉仕者の会が会の名称を「福岡県立図書館音訳の会」に変更
- 平成24年 4月 サピエ (視覚障害者情報総合ネットワーク) 図書館に加入
- 平成25年 9月 福岡県立図書館音訳の会が朗読録音奉仕グループ奨励賞 (財団法人鉄道弘済会ほか主催) を受賞
- 平成27年 7月 サピエ (視覚障害者情報総合ネットワーク) 図書館でのオンラインリクエスト受付開始
- 平成27年11月 「福岡県立図書館音訳の会」創立40周年記念講演会
- 平成28年11月 福岡県立図書館音訳の会が、第24回福岡県文化賞 (社会部門) を受賞
- 平成30年11月 福岡県立図書館音訳の会が、平成30年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞
- 令和 元年 7月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへ、デイジー図書データ登録開始

(令和4年4月現在 音訳ボランティア44名)

○所蔵冊数 5,113冊 (18,501巻)

10 令和3～4年度 新型コロナウイルス感染症対応記録

- R3/5/7 政府は福岡県を緊急事態措置を実施すべき区域として決定。これを受け本県において緊急事態措置を実施。期間は5月12日から5月31日まで。
- R3/5/8 当館は、5月12日から5月31日までの臨時休館を決定。
非来館型のサービスのみ実施（電話・FAX・メール・文書によるレファレンス、郵送登録、電子書籍などのホームページ閲覧）。
来館型のサービス（予約本の受渡し、本の返却、研修やボランティア活動など）は中止・延期又は書面開催。
- R3/5/20 電子書籍637点リリース（合計1,300点）
（新型コロナウイルス感染症対策令和2年度2月補正予算「図書館サービス充実事業費」による。以下、本事業により令和3年度末まで順次、電子書籍を整備。）
- R3/5/28 緊急事態措置の延長が決定。期間は6月20日まで。
当館は、臨時休館の延長を決定。期間は6月20日まで。
- R3/6/17 6月20日をもって緊急事態措置の解除が決定。まん延防止等重点措置へ移行。期間は6月21日から7月11日まで。
当館は、6月22日から通常開館。すべてのサービスを再開。
- R3/6/18 電子書籍800点リリース（合計2,100点）
- R3/7/8 7月11日をもってまん延防止等重点措置の解除が決定。
- R3/7/30 政府は福岡県をまん延防止等重点措置を実施すべき区域として決定。これを受け本県においてまん延防止等重点措置を実施。期間は8月2日から8月31日まで。
- R3/7/30 電子書籍800点リリース（合計2,900点）
- R3/8/5 福岡コロナ特別警報発動
当館は、8月9日から8月31日までの臨時休館を決定。
非来館型のサービス（電話・FAX・メール・文書によるレファレンス、郵送登録、電子書籍などのホームページ閲覧）、予約本の受渡しを実施。
- R3/8/17 政府は福岡県を緊急事態措置を実施すべき区域として決定。これを受け本県において緊急事態措置を実施。期間は8月20日から9月12日まで。
- R3/8/19 電子書籍400点リリース（合計3,300点）
- R3/8/24 当館は、臨時休館の延長を決定。期間は9月12日まで。
- R3/9/9 緊急事態措置の延長が決定。期間は9月30日まで。
当館は、9月14日からの開館を決定。
利用者の滞在時間を1時間以内、レファレンスは30分以内とする。
- R3/10/1 利用者の滞在時間を2時間以内とする。おはなし会再開、学習室再開（17時まで）。

- R3/10/8 電子書籍 900 点リリース（合計 4,200 点）
- R3/10/15 利用者の滞在時間を 4 時間以内とする。
- R4/1/25 政府は福岡県をまん延防止等重点措置を実施すべき区域として決定。これを受け本県においてまん延防止等重点措置を実施。期間は 1 月 27 日から 2 月 20 日まで。
- R4/1/25 電子書籍 1,000 点リリース（合計 5,200 点）
- R4/2/8 電子書籍 550 点リリース（合計 5,750 点）
- R4/2/18 まん延防止等重点措置の延長が決定。期間は 3 月 6 日まで。
- R4/3/4 まん延防止等重点措置の解除が決定。「感染再拡大防止対策期間」に移行。期間は、3 月 7 日から 4 月 7 日まで。
- R4/3/29 電子書籍 150 点リリース（合計 5,900 点）
- R4/3/30 電子書籍 5,487 点リリース（合計 11,387 点）
- R4/5/26 当館は、国（厚生労働省）が示したマスク着用の考え方を受け、館内でのマスク着用の緩和を実施。閲覧室や学習室において、他の利用者と会話がなく身体的距離（2m以上を目安）が確保できる場合、マスク未着用も可とした。

